

岡山県立高等学校入学者選抜制度の変更について

このことについて、別紙のとおり決定いたしたい。

令和6年3月12日

岡山県教育委員会教育長

鍵 本 芳 明

## 岡山県立高等学校入学者選抜制度の変更について（案）

### 1 フレックス制に係る入学者選抜の導入

#### (1) 趣 旨

本県において、不登校経験者が増加しており、こうした状況を踏まえ、多様な学習ニーズに対応する一つ的手段として、全日制高等学校に在籍したまま、一部の科目を他校の通信制課程で単位修得できる制度を活用することで、不登校経験者が全日制高等学校を卒業しやすくなる仕組み（フレックス制）を令和7年度から岡山御津高等学校において導入することとし、併せて、不登校経験者を対象とした新たな入学者選抜制度を導入する。

#### (2) 概 要

##### ア 名称

フレックス制に係る入学者選抜

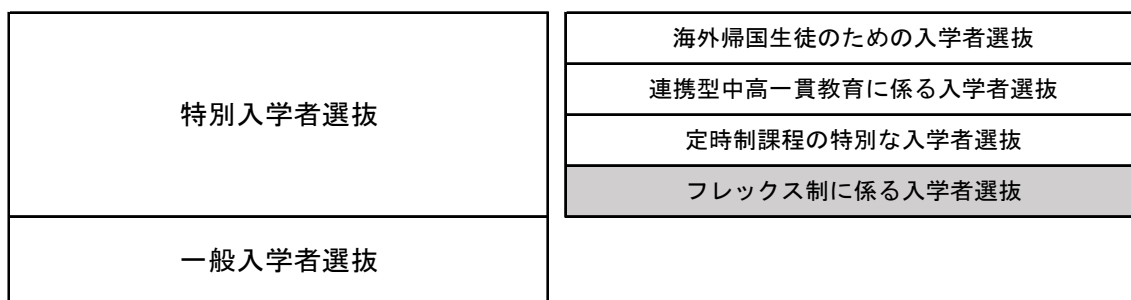
##### イ 実施期日

特別入学者選抜と同日に実施する。ただし、2日のうち、いずれか1日で実施する。

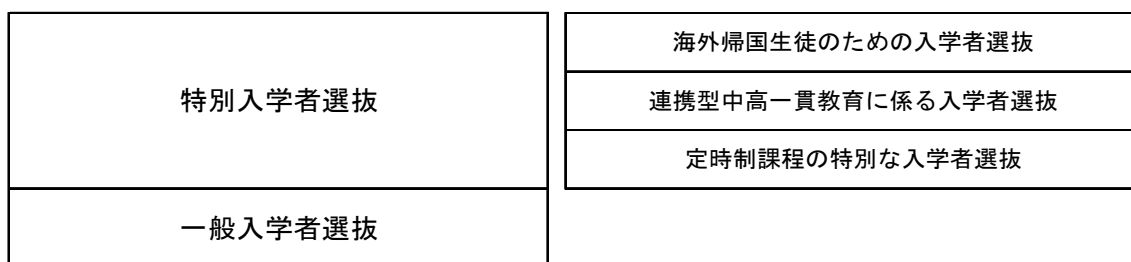
##### ウ 選抜等の概要

- 不登校である者（校内教育支援センターや教育支援センター等に通室する者を含む。）
- 志望理由書及び面接を選抜資料とする。
- 調査書は選抜資料ではなく参考資料として活用する。
- 受検を希望する場合は、事前の学校説明会への参加を必須とする。
- フレックス制に係る入学者選抜を第1志望とした場合、特別入学者選抜を第2志望とすることができる。なお、その場合は、特別入学者選抜の学力検査の受検を必須とする。
- 募集比率は募集定員の20%を上限とする。

#### (新)



#### (旧)



#### (3) 実施学校及び学科

県立岡山御津高等学校キャリアデザイン科

#### (4) その他

令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜から実施する。

#### (5) 今後の予定

令和6年7月	令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要公表
10月	令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施要項公表

## 2 一般入学者選抜〔第Ⅱ期〕の廃止

### (1) 趣 旨

現行の制度では、一般入学者選抜〔第Ⅱ期〕は、烏城高等学校普通科夜間部のみで実施している。烏城高等学校普通科夜間部を第1志望としている志願者にとっては、〔第Ⅱ期〕の入試日程が遅く、心理的負担が大きい。

については、志願者の心理的負担を軽減するために、一般入学者選抜〔第Ⅱ期〕を廃止し、一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕において実施する。

なお、これに伴い、一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕の名称を「一般入学者選抜」とする。

### (2) 現行制度

令和6年度入学者選抜における烏城高等学校に係る日程

○特別入学者選抜	(昼間部)	(夜間部)	2月7日(水)	8日(木)
○一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕	(昼間部)		3月7日(木)	8日(金)
・合格発表			3月18日(月)	
・第2次募集			3月22日(金)	
◎一般入学者選抜〔第Ⅱ期〕		(夜間部)	3月25日(月)	
・合格発表			3月28日(木)	

### (3) 概 要

烏城高等学校普通科夜間部の入学者選抜について、一般入学者選抜〔第Ⅱ期〕を廃止し、一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕で実施する。

ア 学力検査問題は一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕と同一問題とし、学力検査教科は国語、数学、英語とする。

イ 一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕において、烏城高等学校普通科昼間部と夜間部の併願を可能とする。

○併願を可能とすることに伴い、昼間部の学力検査教科を、3教科選択から、国語、数学、英語の3教科とする。

ウ 全日制高等学校と烏城高等学校の第2次募集の併願を可能とする。

○第2次募集の出願期間を全日制高等学校2日間、烏城高等学校3日間とする。

なお、これに伴い、一般入学者選抜〔第Ⅰ期〕の名称を「一般入学者選抜」とする。

### (4) その他

令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜から適用する。

### (5) 今後の予定

令和6年7月	令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施大要公表
10月	令和7年度岡山県立高等学校入学者選抜実施要項公表

県立岡山御津高等学校の改編について

1 趣旨

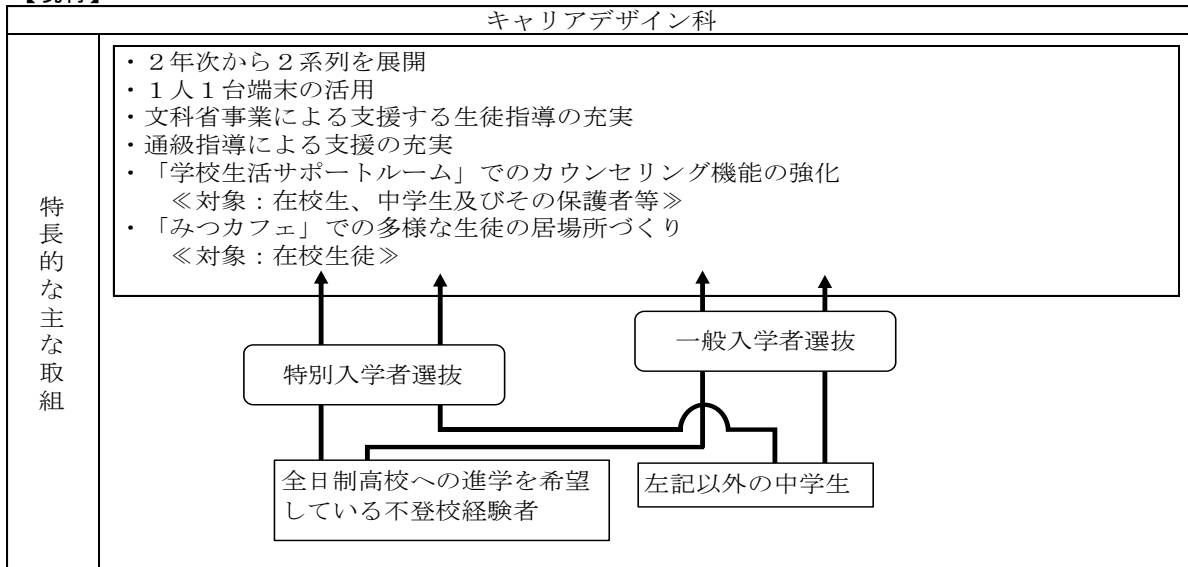
平成 17 年度の再編整備により総合学科に改編し、多様な生徒の持つ様々な能力・適性等に対応すべく、進学から就職までの多様な進路実現に向けて教育活動を展開してきた。令和 4 年度からは、県教委が定めたスクール・ミッションに基づき、不登校経験者の受入も明確に打ち出し、多様な学習ニーズに応える教育活動を展開することで、志願者数が大幅に増加した。

こうした状況の中、本県においては不登校経験者が急増していることを踏まえ、令和 7 年度から、多様な学習ニーズに対応する一つの手段として、全日制高校に在籍したまま、一部の科目を他校の通信制課程で単位修得できる制度を活用することで、不登校経験者が全日制高校を卒業しやすくなる仕組み（フレックス制）を設けるとともに、不登校経験者を対象とした新たな入学者選抜制度を導入する。

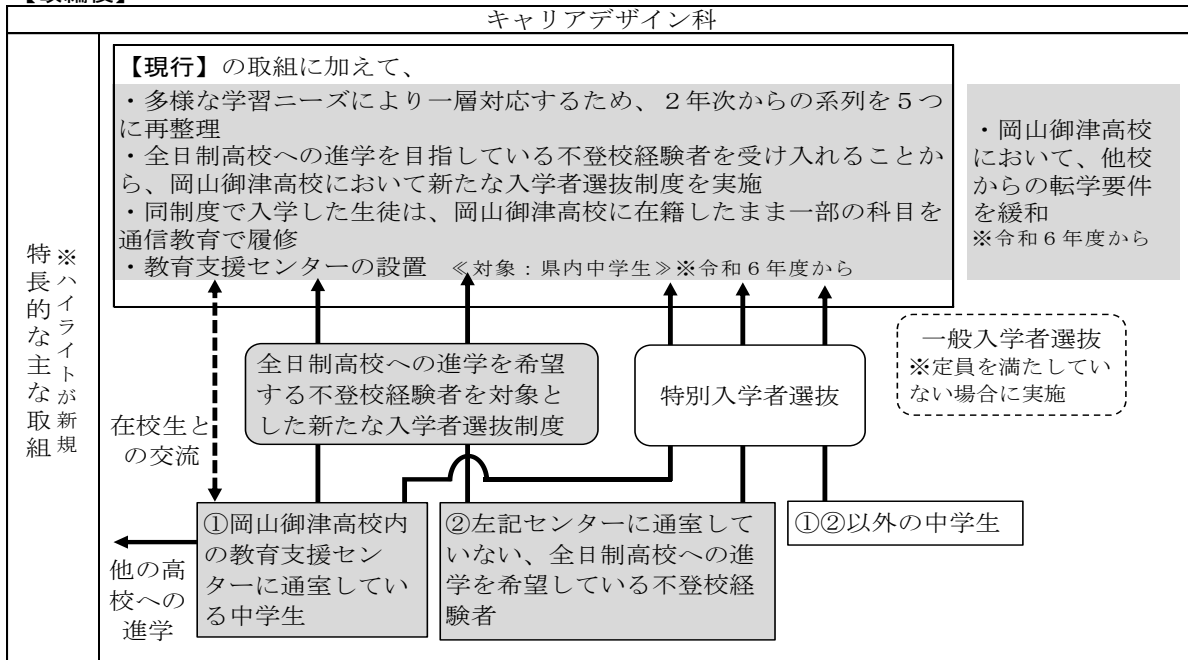
ついでには、岡山御津高校において、令和 7 年度から、新たなスクール・ミッションに基づき、不登校経験者を含む多様な生徒の学習ニーズへの対応が可能となるよう、上記制度も活用して機能強化を図る。これにより、多様な価値観を持った生徒が、ともに学び、互いを尊重しながら自己の伸長を図るとともに、他者と協働して社会に貢献できる人材を育成する新しいタイプの学校を目指す。

2 改編の概要

【現行】



【改編後】



### 3 改編の具体

- (1) 令和7年度入学者選抜より、特別入学者選抜と同時期に、全日制高校への進学を目指している不登校経験者を対象とした入学者選抜（フレックス制に係る入学者選抜）を実施する。

2月入試

【現行】

特別 80%
-----------

3月入試

一般 20%
-----------

【令和7年度入試のイメージ】

フレックス 20%	特別 80% (令和6年度入試にあてはめた場合)
--------------	-----------------------------

※定員が充足していない場合は、一般を実施

○選抜等の概要

- ・学力検査はなく、志望理由書及び面接により選抜
- ・調査書の提出は必要だが、選抜資料ではなく参考資料として使用
- ・フレックス制に係る入学者選抜での受検を希望する場合、事前の学校説明会への参加が必要

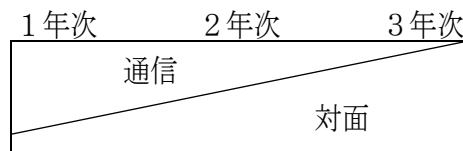
○第2志望の可否

	可	不可	
第1志望	フレックス	特別	※第1志望をフレックス制に係る入学者選抜、第2志望を特別入学者選抜とした場合、特別入学者選抜の学力検査の受検が必須
第2志望	特別	フレックス	

○フレックス制に係る入学者選抜を経ての入学

- ・岡山御津高校に在籍したまま、全通併修を活用し、岡山操山高校通信制課程の一部の科目を履修・修得することが可能

<履修イメージ>



- ・岡山御津高校では、希望する生徒が登校し通信教育に係る質問や学習支援等を受けられるよう体制を構築

- (2) 令和6年度に、校内に県内中学生を対象とした教育支援センターを設置し、同室に通室する中学生が、高校生活のイメージを具体的に持ち、学習しながら落ち着いて生活できる「新たな居場所」にするとともに、岡山御津高校の生徒との交流を深める。

- (3) 令和6年度以降、岡山御津高校において、他校からの転学要件を緩和する。

スクール・ミッション	幅広い知識と教養を培い、多様な学習ニーズに応える高校として、様々な学習形態等を活用し、一人一人の進路実現を支援するとともに、地域等との連携により、将来を見据える視野や夢を実現させる力を育む教育活動を通して、社会的・職業的に自立し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。
------------	---

※スクール・ミッション：各高等学校の存在意義や社会的役割、目指すべき学校像

### 【現行】

学科等 (学級数)	キャリアデザイン科 (3学級)	
系列	特別進学	地域協働
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別進学系列、地域協働系列の2つの系列から選択</li> <li>特別進学系列は、国公立大学や私立大学への進学に必要な学力を育成する。</li> <li>地域協働系列は、グローバルな視点で社会を捉え、ビジネスを通じて地域の未来を切り拓く資質・能力を身につけた人材を育成する。</li> <li>基礎学力の定着を図る学習として、国数英のモジュール学習(各30分×5日)</li> <li>人間関係形成力を高める学習として、ソーシャルスキルトレーニングを実施(1単位)</li> </ul>	
進路	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学、私立大学、短大、専門学校</li> <li>公務員、企業等の就職</li> </ul>	

### 【令和7年度から】

学科等 (学級数)	キャリアデザイン科 (3学級)				
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの違いを認め、共に学びともに生きること、喜びを共有し励まし合いながら、学校が楽しいと思える姿勢、考え方で生活する生徒を育成する。【ウェルビーイング】</li> <li>○多くの選択科目の中から自分に必要な学びを選択し、主体的な学びを通して自ら考え、常に自問できる姿勢をもつ生徒を育成する。【自律】</li> <li>○地域をフィールドとした学習の場や多様な行事を通して、自他の良さに気づき、互いの長所を伸ばそうとする生徒を育成する。【自尊と他尊】</li> </ul>				
系列	特別進学	教養・自然・スポーツ	ビジネス・情報	美術・デザイン	保育・福祉
学習内容	大学進学、医療福祉系の専門学校への進学を目指した学びを進める。	多様な選択科目から得意分野や進路希望に応じた学びを進める。	商業・情報の基礎から始め、総合的な実践を通して学びを深める。	美術、デザインのスキルの習得や感性の育成を目指した学びを進める。	保育、福祉科目の学びを通して、専門性を高め自己適性を認識する。
取得検定等	日本漢字能力 実用英語技能 実用数学技能	漢検、英検他 PC関係検定 各種プレゼン等	日本語ワープロ 情報処理技術 文書デザイン他	各種コンクール	家庭科保育技術
進路	国公立大学 私立大・短大 福祉看護系専	就職 専門学校 私立大・短大	就職 情報系専 私立大・短大	国公立大学 私立大・短大 理美容等専	就職 福祉看護系専 私立大・短大

#### ○総合学科の特長を最大限に生かした科目選択

5つの系列(総合選択科目群)に再整理し、産業社会と人間、進路ガイダンスなどを通して自分の良さを理解し、将来の進路に最適な科目を選択できるよう履修指導を充実させ、意欲的な学習姿勢で主体的な学びを生む。

#### ○社会的自立を高めるための学びへの配慮

中学段階での学習に不安のある生徒が安心して学べるよう1年次での国数英のモジュール学習(各30分×5日)を継続する。

#### ○学び方のバリエーションや配慮

学習内容や生徒の特長に合わせて学び方を講義形式や協働的な学びの形式と変化をつけ、主体的・対話的で深い学びになるよう工夫する。

#### ○教科横断型の学びの促進

地域を学びのフィールドとし、様々な題材を扱うことで学びの幅を広げ、教科の学びと総合的な探究の時間の取組が有機的に結びつくような、授業展開を目指す。

#### ○発達支持的生徒指導

生徒が自分で考え、自己決定することを尊重し、その過程を教職員が支援するスタンスで、個と集団に働きかける。